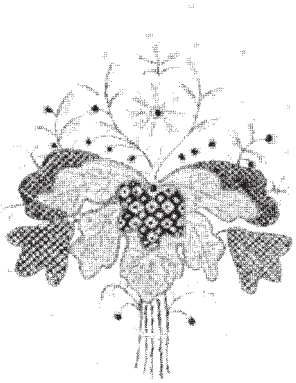
千草会会報 第60号　令和3年11月発行

千草会

題字　原あやめ



令和3年号

■目次

● 千草会会長・各科よりあいさつ … 1頁
● 在校生だより …… 2頁
● 芸術鑑賞・テーブルマナー …… 3頁
● 山脇ニュース…… 4･5･6頁
● 卒業制作 …… 6頁
● 学校案内／会計報告／就職 …… 7頁
● 山脇祭／講師・教職員異動報告／千草会役員 …… 8頁

ごあいさつ

千草会会長
須藤 加代子（旧・蛯名）

千草会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの影響で不安な状況が続き、皆様の日常におかれましても、ご苦労やご不便な日々をお過ごしのことかと思います。

山脇の学校生活においても通常の授業や行事を行う事がとても難しい状況にある様です。

今回は、各科でどの様な工夫をされているのか教えていただきました。

新型コロナウイルスが一日も早く終息して、安心できる生活に戻れることを願っております。

暫く、マスク生活は続きそうですが、マスクの下は笑顔で、この時期を一緒に乗り越えましょう。

ビジュアルデザイン科

VD科は昨年同様、時間割全体の6～7割にオンライン授業を取り入れています。

1年生は前期の登校を多めにして、PCやアプリケーションに慣れてから、徐々にオンラインの日数を増やしました。はじめはWeb上のルール等に戸惑う様子もありましたが、今ではスムーズに使いこなせています。

2・3年生は、個々の進度に合わせた講師とのやりとりや、グループワークでの分担やまとめ等、オンラインの利点を生かして、学習効率や成果を上げています。

大判印刷や撮影、見学等、状況に応じた登校授業でリアリティのある学びも取り入れながら、学生にとって安全で充実した学生生活となるよう努めて参ります。

スペースデザイン科

新型コロナウイルス感染拡大防止から、一気に広がったオンライン授業！スペースデザイン科は全学科の学生登校状況をみながら週1回以上のオンライン授業を推進しています。

1年生は対面でないと進められない授業は登校を優先し、講義はオンライン授業を実施。

2・3年生も同様で講師の協力を得ながら学生にとって最良の対応策を日々考えながら授業を進めています。

また、対面授業を実施する時は3密に配慮し、飛沫防止パーテーションを各机に設置し定期的な換気をしながら進めています。今後も感染状況をみながらオンライン授業を上手く活用して授業の質を落とすことなく学んでいけるよう努めて参ります。

ジュエリーデザイン科

JD科ではバーナーを使用する為、耐熱ポリカーボネート透明板を対面の机上に設置しています。換気を常に行い、今まで共有していた保護メガネを個人持ちとし配布するなど、工具の共有使用に注意し、使用後には消毒や手洗いを行っています。

学生には自宅でも制作ができるよう作業環境を整えてもらい、多い時には週3回のオンライン授業を行ってきました。

授業の質を上げる為に講師の先生がご自身で動画を作ってくださったり、作業工程を撮影させていただいたりと多くのご協力をいただき、JD科の資料として貴重な動画を残すことにも繋がりました。

ビジュアルデザイン科

《2年》杉山（すぎやま） かのか

Visual design

コロナ禍での入学から一年半が経った現在、主にパソコンやカメラを扱う授業は対面、デッサンや概論などはオンライン授業での体制にて学んでいます。

一年次の頃は、限られた登校日と時間での新しい学びに不安を感じる事がありましたが、支給されたパソコンを介した先生方の丁寧なサポートのお陰で安心して勉学に励むことが出来ました。

今年は昨年と比べて登校や行事ができる日が増えた事で、実際に学校で会う先生方やクラスメイトと共有する時間はとても嬉しさを感じると共に、その環境の大切さを日々実感しています。特に、山脇祭は入学してから初めての経験であり、より様々な人との交流を増やせる機会である為とても楽しみにしています。

また、登校の際には講評会でのクラスメイトの作品を含めて、展示されている先輩や他の科の作品を目にする機会を通して、それぞれの独自の発想や表現方法からデザインにおける豊かな感性も磨く事が出来ています。

自宅でのオンライン授業という環境下においても、普段の通学時間を作業時間に当てる事が出来るといったオンライン授業ならではの利点を活用して課題やコンペに取り組んできました。

そうした時間の工夫を凝らしながら、今後も前向きにデザイナーへの道を全力を尽くして歩んでいきます。

生活環境に変化が続く大変な状況ではありますが、卒業生の先輩方もお身体に気をつけてお過ごし下さい。いつか笑顔でお会い出来る日を楽しみにしております。

野菜のデッサン

スペースデザイン科

《3年》井上（いのうえ） 結依（ゆい）

Space design

新型コロナウイルスの影響を感じたのはオンライン授業が増え、対面授業が減ったことです。

初めは戸惑いながらも自宅と学校で出来ることを考え、期限内に課題を終わらせるのが必死でした。

限られた時間内で課題を終えられるよう計画的に取り組むことを意識しました。また、オンライン授業や分散登校でクラスメイトと会う機会が減ってしまいましたがSNSなどを活用してコミュニケーションをとっていました。

現在、70％の登校ができるため昨年よりは余裕を持って課題に取り組むことができています。

今年の春から始まった就職活動では、コロナ禍の影響で求人募集が減っていることを耳にしていたので、早め早めに行動することを意識しました。

説明会や面接もリモートが多く、企業訪問がなくなった分、リモートで数多くの説明会に参加し、色々な職場環境を知り、学ぶことができたと感じています。6月に念願の家具関係の企業に内定を頂き就職活動を終えました。

今、前期の課題の提出が終わりひと段落ついたところです。コロナ禍で大変な思いもしましたが、同時に計画的に行動することを学べたので、今後もこの事を生かしていきたいと思います。

これから後期の課題や卒業制作といった大きな課題にも取り組まなければなりません。

今後も計画的に課題を進めていきたいと思います。

建築デザイン「1＋1＋1」

ジュエリーデザイン科

《3年》大場（おおば） 菜摘（なつみ）

Jewelry design

二年次から感染症流行の予防措置としてオンライン授業が導入され、家と学校の両方で行われる授業が始まりました。登校授業とオンライン授業では作業環境も使える工具も違い制限が多く、学内イベントも含め前年度と同じようにはいきませんでした。先生方やクラスの友人とも会える機会は減り、学生という立場から見ても影響は大きかったように感じます。

そんな制限の中でも、できる範囲で工夫をしながら課題と向き合いました。家と学校の両方で作業をしていると、自分がいかに恵まれた環境にいるかを以前よりも強く思うようになりました。登校時間がより貴重に感じ、作業時間を最大限に活用したいと考え授業に合わせて授業時間外も含めて計画的に作業を進めるようになったのも、この状況下ならではの学びだったと思います。

また、三年次からは授業と並行して就職活動も始まり、周りの方々のサポートもあり無事内定を頂くことができました。就職後は今と環境がガラッと変わることになり不安もありますが、自分が好きで学んできたことを仕事にできるという喜びはとても大きく、有難いことだと思います。

前期の授業も終え、後期からは学生生活の集大成となる卒業制作が始まります。今後は社会人として、仕事としてジュエリーと向き合っていきますが、学生としての最後に、今まで培ってきたものを結集させ、悔いのない自由な作品を制作したいと思っています。

進級制作「meal」

芸術鑑賞・テーブルマナー

令和３年度　芸術鑑賞

- ７月28日㈬　１・２年生
- ７月29日㈭　３年生

実施場所　電通　四季劇場「海」

鑑賞内容　ミュージカル「アラジン」

▶目的

・本物の芸術に触れその良さを理解したり、様々な価値観を認めたり、視野を広げることで、より深い創造的な自分の見方や制作に発展させていく。
・その魅力や感動を受動するだけでなく、語られている文化・思想といったメッセージを思考する。

学生からのコメントは下記の通りです

◎『アラジン』を鑑賞して壮大な音楽とダンス、次々と変わっていく舞台に目が離せなかった。また、キャストのパフォーマンスにも圧倒され、ジーニーのコメディ感が楽しく笑った。
◎アラジンとジャスミンが魔法の絨毯で空を飛ぶシーンでは広く幻想的な世界がステージの空間の中で表現されており、本物の星空のような幻想的な景色の美しさと歌声の美しさに感動しました。
◎最初から最後まで楽しく、笑いあり感動あり、正にミュージカルというステージで本当に楽しく、貴重で充実した時間を過ごすことができ幸せでした。

令和３年度　テーブルマナー講習会

- ７月28日㈬

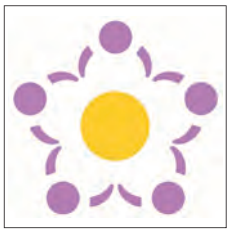
実施場所　アルカディア市ヶ谷
（私学会館）

▶目的

・３年生の学校行事として、社会人に必要な会食のマナーを体得した。
洋食のマナーを身につけるだけでなく、相手への心遣いや振る舞いがテーブルマナーの本質であると理解した。

なすびの里 法人マークコンテスト

社会福祉法人なすびの里が20年目を迎えるにあたり法人マークを募集しました。応募数47点の中から、本校の池田千夏さんの作品が見事、最優秀賞を受賞し、法人マークとして採用されました。



【最優秀賞】（法人マーク採用）
ビジュアルデザイン科 2年次 池田 千夏

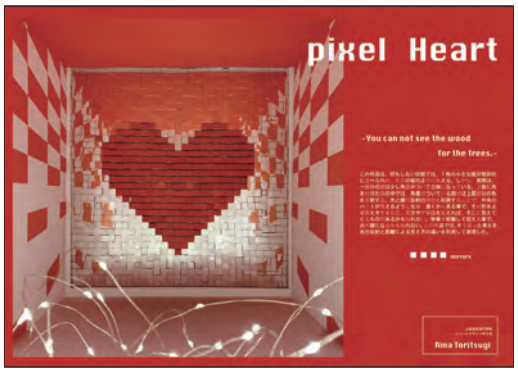
第17回 インテリアデザインコンペ2020

毎年、インテリアの国際見本市JAPANTEXの企画として開催されている、インテリアデザインコンペ2020は第17回目を迎えます。個人、グループ・団体、学生など、プロやアマチュアを問わず広くから応募があり、本校よりスペースデザイン科2年のグループ制作で参加した、井上さん・カイさん・根本さんの作品が入賞しました。

【入選】 スペースデザイン科 2年次
井上 結依　カイ ティ タン フェン　根本 愛菜

『アカリ・イマージュ 2020』デザイン学校照明展

「JAPANTEX」（東京ビックサイト）にて開催されている『アカリ・イマージュ』デザイン学校照明展は、今年はオンラインで開催されました。一般人気投票の結果と実行委員会の評価が高かった作品に贈られる優秀賞を、スペースデザイン科3年生の取次里那さんが受賞しました。



【優秀賞】スペースデザイン科 3年次 取次 里那

山脇ニュース

第10回YAMATOイラストレーション デザインコンペ　テーマ：《希》

若者の発表活動をサポートするとともに、大和をイラスト溢れるまちに変えていくことを目的に、平成23年度から実施している公募型のコンペです。ビジュアルデザイン科1・2年生が授業課題として応募し、審査の結果9名が入賞しました。

【優秀賞】
ビジュアルデザイン科 1年次
村松 真優

【入選】
ビジュアルデザイン科 1年次
吉田 和未

【入選】
ビジュアルデザイン科 1年次
杉山 かのか

【入選】
ビジュアルデザイン科 1年次
中村 音葉

デザ魂 - LOCAPO（ロカポ）ロゴ募集

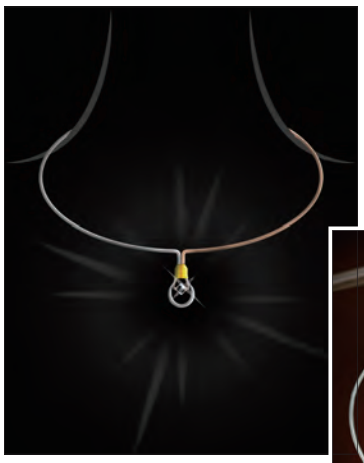
デザイン・イラストの公募サイト「デザ魂」より、地域密着型クーポンサイト「LOCAPO（ロカポ）」のロゴデザイン募集にビジュアルデザイン科の伊藤 七海さんが応募し、佳作に選ばれました。

地域密着型クーポンサイト
LOCAPO
ロカポ
LOCAPO

【佳作】ビジュアルデザイン科 2年次 伊藤 七海

第11回 SUWAアンカットダイヤモンド ジュエリーコンテスト

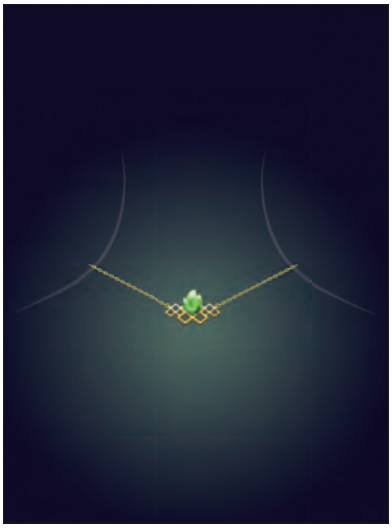
主催は、国内外でジュエリーやダイヤモンド・カラーストーンのルース(裸石)の販売をしている諏訪貿易株式会社。
今年のテーマ石は『ピラミッド　ダイヤモンド』(正八面体の結晶のサイズ違い3種より) でした。国内を中心に 学生やデザイナー、社会人から108点もの応募があり、1次審査を経て最終審査の結果、見事本校の松本尚士さんが「最優秀賞」を受賞しました。



【最優秀賞】
ジュエリーデザイン科 3年次
松本 尚士

第14回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト

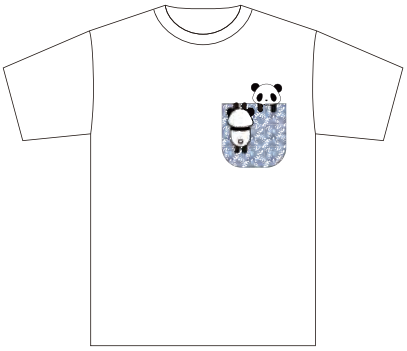
本コンテストは、糸魚川のヒスイ活性化や全国発信を目的に行われています。自由部門のテーマは「翠 (みどり)」、製品化デザイン部門のテーマは「令和の勾玉 (まがたま)」。コンテストには応募総数356点あり、ジュエリーデザイン科2年生が授業課題として参加しました。審査の結果、青山　陽奈里さんが糸魚川ヒスイ商組合賞を受賞しました。



【糸魚川ヒスイ商組合賞】
ジュエリーデザイン科 2年次　青山 陽奈里

Spring & Summer 2021 第9回Tシャツデザインコンテスト

1年次「PC表現基礎」の授業課題として応募。1,170点の応募の中からプロのバイヤーによる審査の結果、2021年春夏向け商品として商品化される25作品の優秀賞が決定。全国のジーンズメイト店頭およびジーンズメイト公式サイトで販売されました。



【優秀賞】スペースデザイン科 1年次　椎名 真白

第3回EQBC 金属アレルギーコンテスト

第3回を迎えたEQBC金属アレルギーコンテストのコンセプト部門に、ジュエリーデザイン科2年生が授業課題として取り組みました。審査の結果、大場菜摘さんが準グランプリに輝き、島村沙里奈さんが協賛企業賞を獲得しました。
2020年10月13日、新宿京王プラザホテルの会場にて、授賞式及びオンライン中継が行われました。

【準グランプリ】
ジュエリーデザイン科 2年次
大場 菜摘

【中島皮フ科・AIM beauty medical clinic賞】
ジュエリーデザイン科 2年次
島村 沙里奈

第14回 ピンズデザインコンテスト

「その人が発する大切なメッセージ“語る力”を“小さなもの (ピンズ) ”に与える」ことを目的とした、ピンズのデザインコンテストが今年も開催されました。今年のテーマは、「医療従事者への感謝とエール」でした。ジュエリーデザイン科の1・2年生が授業課題として応募し。応募総数136点の中から受賞作品6点が選ばれ、吉岡奈槻さんが審査員個人賞を受賞しました。

【デハラユキノリ賞】
ジュエリーデザイン科 1年次
吉岡 奈槻

第54回 日本七宝作家協会展

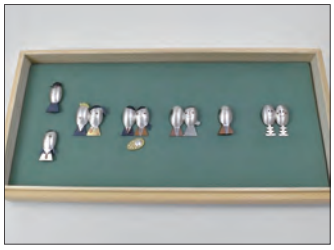
本展は七宝工芸美術の向上を目的とし、広く国内外の七宝作家が一堂に会し、新時代の七宝工芸美術の発展と文化交流の一助になる事を願って開催するものであり。創造性があり高い技術と洗練された感覚の作品を期待します。本校より、学生10名の授業課題作品や進級制作作品を応募し、入選を果たしました。

【入選】
ジュエリーデザイン科 2年次
羽田 涼

【入選】
ジュエリーデザイン科 3年次
大場 菜摘

第49回 伝統工芸日本金工展［21＋部門］

伝統工芸日本金工展は、国内金属工芸の最高峰ともいわれ、全国の金工作家を対象とした公募展です。学生及び30歳未満の若手金工家の育成のために設けられた［21+（にじゅういちぷらす）部門］に、本校より学生・卒業生7名が入選しました。さらに21+部門の入選28作品の中から、矢口鳩望さんが部会賞を受賞しました。

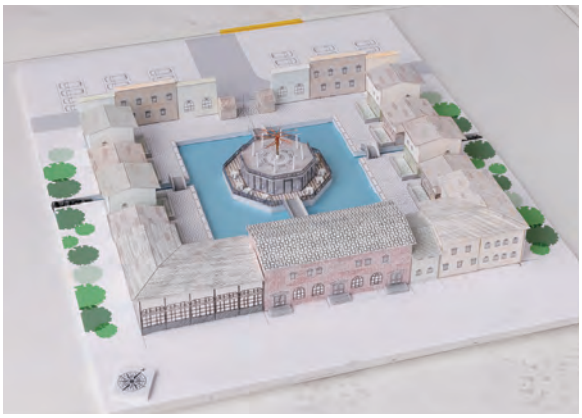


【21+金工部会賞】
ジュエリーデザイン科 1年次
矢口 鳩望

卒業制作

卒業制作／３年次　ビジュアルデザイン科　佐伯諒佳
作品名／TFO（ギフト用紅茶のブランディング）

卒業制作／３年次　ジュエリーデザイン科　松本尚士
作品名／「Legacy」素材：950銀　銅　真鍮



卒業制作／３年次
スペースデザイン科　西歩由莉
作品名／店舗計画「Hotel Andersen」

学校案内

●本学は令和3年11月に創立92年を迎えます。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございます。今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

建学の精神「真・善・美」に基づいた専門性と人間力を養う教育で一人ひとりの可能性を引出します

「個々を大切にする教育」 1クラス15～20名の少人数クラス

「3年制のデザイン専門学校」 基礎から学び、幅広い知識と技術を習得

「最高の学習環境」 一人ひとりに専用の制作机、ノートパソコン支給

「コンペ実績」 毎年、多数のコンペに入賞実績

「充実した就職サポート」 学んだことを活かした専門職での就職を目指します

ビジュアルデザイン科

グラフィック・Webデザインを中心に幅広いスキルを修得。1年次はデザインの基礎を学び、2年次から選択授業がスタート。パッケージ、イラスト、写真、グッズ、装丁など自分の目標に合わせてデザインセンスを高めます。

スペースデザイン科

『インテリア』も『建築』も。どちらも学んで総合的な空間デザインのスキルを修得。3年間でさまざまな空間をデザインすることで、自分の進む道を見極めます。色彩検定、商業施設士の取得。また、卒業と同時に二級建築士の受験資格を取得できます。

ジュエリーデザイン科

「手から手へ」と技術を伝える。日本・ヨーロッパの伝統彫金からハイジュエリーまで幅広く学び、確かな技術を身につけます。多くのデザイン制作を積み重ね、高い技術とデザイン力を修得します。

『山脇子女奨学金のご案内』

ご親族が山脇に進学される場合、入学金の一部(5万円)を免除する「山脇子女奨学金」(他の奨学金との併用可)がございます。

※その他「指定校推薦奨学金」（1年次の授業料から31万円免除）、一般推薦奨学金（1年次の授業料から21万円免除）などございます。ご親族にデザイン分野への進学を希望される方がおられましたら、山脇を是非ご紹介ください。

※令和4年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。ホームページ https://yamawaki.ac.jp/ 最新ニュースをアップしています

会計報告・就職

千草会　令和２年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させて頂きます。

前年度繰越金		¥4,972,992
収入	千草会費	¥1,530,000
	利息	¥50
	計	¥1,530,050
支出	千草会会報　発行費	¥694,566
	千草会賞・記念品	¥90,214
	運営費	¥231,717
	事務費	¥370
	その他	¥8,015
	計	¥1,024,882
次年度繰越金		¥5,478,160

就職について

コロナ禍での就職活動も2年目となり、就職活動における選考方法もコロナ前と比べて様変わりしました。オンライン説明会、オンライン面接、オンラインでのグループディスカッション等、以前では考えられなかったような選考方法もすっかり定着してきました。内定式をオンラインで実施する会社もあり、コミュニケーションの取り方もコロナ前と現在では大きく変化しています。オンラインでの説明会や面接では、会社の雰囲気が見えにくい、というデメリットがある半面、授業の合間に学内でオンライン面接を受けられる等、時間的な面ではメリットもあります。企業側も手探りでの実施だった昨年度と比べて、今年はオンラインの活用を前提とした採用方法が定着し、今後もこの流れは継続していくように感じます。一方でクリエイティブな分野の求人状況はまだまだ厳しく、学生達は就職活動で苦戦を強いられています。依然として厳しい状況が続きますが、一人でも多くの学生が自分の夢を実現できるよう、学校全体で支援を行ってまいります。

2021 山脇祭 SPACESHIP

令和3年9月3日（金）～5日（日）に山脇祭が開催されました。
今年はコロナウイルスの影響で入場制限をするため予約制になりましたが、
その中でも学生は工夫を凝らして有意義な3日間を過ごしました。

講師・教職員異動報告

▼退任された先生

五十嵐　進　スペースデザイン科
片岡　愛子　スペースデザイン科
後藤　泰夫　スペースデザイン科
内堀　豪　ジュエリーデザイン科
菅原　晴子　ジュエリーデザイン科
大島佐和子　ビジュアルデザイン科助手
髙橋　千明　ジュエリーデザイン科助手

▼就任された先生

下門　英治　スペースデザイン科
横山　知保　ビジュアルデザイン科助手

千草会役員

会長　須藤加代子　ハンディクラフト研究科卒
副会長　山﨑　和美　服　飾　科卒
松橋　恭子　リビングアート科卒
伊藤　陽子　リビングアート科卒
野上　孝枝　リビングアート科卒
監事
福澤　清子　専任スペースデザイン科助手
阿部　大輝　ビジュアルデザイン科卒
長門あゆみ　ビジュアルデザイン科卒
井須　琴巳　ビジュアルデザイン科
磯部　愛菜　スペースデザイン科卒
チェ　光彦　スペースデザイン科卒
西　歩由莉　スペースデザイン科卒
永峯万里桃　ジュエリーデザイン科卒
岡部　実生　ジュエリーデザイン科卒
鈴木　香澄　ジュエリーデザイン科卒
学内代表幹事
幹事
篠原　一郎　専任
桐井　英明　専任
杉山　千尋　専任ジュエリーデザイン科助手
田中　晶子　ビジュアルデザイン科助手
吉田　真　ビジュアルデザイン科助手
横山　知保　ビジュアルデザイン科助手
濱辺　雅代　スペースデザイン科助手
小野早由里　ジュエリーデザイン科助手
学内委員